

第2回 隅田小学校学校再編準備委員会 議事録

日時 令和8年6月25日 19:00～21:30

場所 隅田地区公民館

出席委員：乾委員長、森下副委員長、西山委員、中委員、田中（文）委員、堂浦委員、水林委員、船津委員、田中（康）委員、中村委員、東浦委員、石井委員、中岡（耕）委員、中岡（大）委員、奈良委員、門多委員、森脇委員、西委員、入江委員、小野委員

欠席委員：なし

教育委員会：今田教育長、田中教育委員、簀下教育委員、中下教育委員、岡教育部長、阪口参事、南出隅田地区公民館長、家田学校再編推進室長、棚田学校再編推進室長補佐、南指導主事、東学校再編推進室主任、今山学校再編推進室主任

委員長挨拶後、委員長により進行。

1 前回委員会の振り返り（資料 2P～3P）

事務局よりこの準備委員会で審議している内容を保護者や地域住民へ周知する学校再編だよりの内容と周知方法について説明。

委員からの質問等は特になし。

2 教育課程について（資料 4P）

事務局より5月28日に開催された会議において、隅田・恋野小学校で役割分担を決定し、夏休み期間等を活用して、計画的に準備を進めてもらうこと、7月22日に両小学校の合同職員会議を予定していることを報告。（資料なし）

委員からの質問等は特になし。

3 児童ケアについて（資料 5P～6P）

（1）児童のメンタルケア（2）学校間交流について事務局より報告。（資料 5P～6P）

委員からの質問等は特になし。

4 学校施設について

恋野小学校跡地活用について6月23日（火）に実施された第2回恋野小学校学校再編準備委員会での審議内容を事務局より説明。（資料 7P）

議題「②跡地活用に特化した委員会」について、設立が了承されたことを報告。

委員からの質問等は特になし。

5 通学安全対策（1）スクールバスの運行ルート（恋野ルート）について

6月23日（火）に実施された第2回恋野小学校学校再編準備委員会での審議結果を事務局より説明。

(資料 8P～13P)

議題「ルートと便数：行き 1 便、帰り 3 便」について、恋野ルートを利用予定の小学生及び未就学児の保護者を対象としたルート・便数を決定するアンケートの結果、行き 1 便、帰り 3 便が多数意見となったことを報告し了承された。

議題「停留所 6 か所」について、上田区の停留所追加の件は除き了承された。

議題「上田東の帰りの停留所を西へ 90m 移設」について、了承された。

議題「デマンドタクシー上田停留所の追加」について、事務局と上田区、上田区保護者に一任することと了承された。

追加議題「中道東の停留所の変更」について、事務局と中道区、中道区保護者に一任することと了承された。

委員からの質問等は特になし。

6 通学安全対策（２）通学路の安全対策について

6 月 23 日（火）に実施された第 2 回恋野小学校学校再編準備委員会での審議結果を事務局より説明。

(資料 14P～19P)

議題「各停留所における安全対策」については、恋野区集会所への横断歩道や防犯灯の設置も含めて検討のうえ、提案通り進めることについて了承された。

委員からの質問等は以下のとおり。

	議 事
委員	恋野小学校の安全の報告について、まだ合同の会議じゃないんで、隅田でこの話をされても。恋野でこれだけの安全を確保しますよということは、教育委員会としては、恋野でこうしてますけども、隅田の通学バスの安全について、同時に提案してもらって、こういうことがありますよというような話し合いができるならば、この報告があってもいいと思うけど。現行のバスで隅田にも問題あるかもわからんで、これ同じことは隅田にもして欲しいと思います。
事務局	隅田のスクールバスにつきましては、もともと路線バスで走っていたルートでの通学支援ということもありまして、路線バスの停留所、例えば道でいうとバスを停められるような停留所があるところを利用させていただいています。 恋野の方はそういう状況になく、車道に停まってということもありますので、その違いはあると思います。 ただ隅田の停留所につきましても、再編に伴って追加するものではないですが、継続した安全対策は必要と考えていますので、何か対応の必要が出てくれば検討する必要があると思っています。今回は再編統合に関わってということでご報告させていただいています。

7 地域連携について

事務局より児童の見守りについて、今後、PTA や地域の会議などで関係者と情報共有を図り対応を

検討すること、昨日の隅田中学校区青少年健全育成会の総会で見守りの協力依頼を行ったことを報告。

(資料なし)

委員からの質問等は特になし。

8 校名校歌(1) 学校名・校歌・校章について

事務局の説明前に、委員長より本件については十分な議論をしていきたいので、個々の思いは遠慮なく出してほしい旨発言があった。

事務局からは校名について、事務局としての考えをこれまでの説明会や第1回準備委員会で伝えきれていないことを踏まえ、準備した資料について説明。

また、23日の第2回恋野小学校学校再編準備委員会で出た以下の意見を紹介。

- ・未来に向けて、子供たち含め、みんなが同じスタートラインに立って、前を向いて歩いていけるように。
- ・新しい学校で子供たちがチームワークを築いていけるように。
- ・子供たちとともに新しい学校の歴史を築いていきたい。
- ・校名の議論からの象徴からも繋がっていくんですが、校歌も子供たちがみんな一緒に覚えてみんなで慣れ親しんでいって欲しい。

事務局の説明後、委員長より事務局からの説明を踏まえて、審議の回数は限られているため、各自思いを出して、議論を進めたい旨説明があった。

委員からの意見等は以下のとおり。

	議 事
委員	委員長が言われたんですけどもね。今までの隅田地区で、何回説明会やったんですか、2回ですね。今年の2月14日と昨年の1回。今年の2月には11人ほどしか来られてないような議事録になってるんです。 いろいろと話戻って申し訳ないんですけども、その時に隅田の方々は隅田と恋野と統合するんやというだけの話だったんで、それはもう別にいいですよというような形の中で、参加人数が少なかったんだと思います。その中で、名称が変わるなどいろんなことがあるので来てくださいというような話の流れが一切なかった。 それでは参加人数がないんで、ほんまに説明会が終わったんかなと。地域住民にきちっと説明は終わってると、マスコミでも説明不十分じゃないかというような記事もあったのは事実だと思うんです。その辺のところをやらずに、この準備委員会に振って、この中で決めてくれと、こんな無責任な話はないんです。 私も地域でこういう話あるんですけど、みんな聞いてますかって聞いたら、ほとんど聞いてないし、説明がほとんどされないから聞いてないのは当たり前だと思うんです。これ2回目で決めて、決まりましたというようなことは、地元にはとてもやないけど言えません。 やはり隅田は隅田で残してもらってもいいかなというふうに思ってます。妥協するとすれば、すべての自分で描いてる学校名を書いて、それでするんやったら妥協点

	としていけます。 仮にもう恋野小学校にしましょうと、例えば隅田小学校にしましょうと、隅田恋野にしましょうと、いろんな名前が挙がって、決めるんやったらいいんですけど、隅田とか恋野とか使ったらあきまへんというような形で前には進めて欲しくないということでございます。 隅田の会議録に書いてるんですけども、恋野の2回目の会議録には、委員長から今回は提案になってるけどもいろんなこの場で決めていきます、というような議事録になってるんで、この場で協議をして決めたらいいということでもよろしいんでしょうね。委員長、この会議の中でどうするかを決めたらいいんですね。 学校再編準備委員会条例にも採決できると書いてるんで、そういう形でいいというふうに認識してるんですけども、この場できちっとどういう方向を出していったらいいと。私は自分の好きな学校名を書いて投票したらいいかなということをご提案したいと思ってます。
委員長	この件については、冒頭に言わしてもらいましたように、この場所ですぐ決めるということは、委員長として言えないと思うんです。ただ、本日集まっていたいます委員一人ひとり意見は持っていると思います。それを今日の場で皆さんから出していただいく、それを発言せんとこのまあいって、最終的にこう決まったということになったときに、私一言もしやべれなかったと。こういうことを言いたかったのに、知らない間に決まってしまったと、そういうことが後から出てきたんでは困るので、冒頭に皆さんの思ってることについては発言してくださいと言いました。 最終的にどう決まるはあったとしても、皆さんの個々の思いは十分出していただいて、この場に寄ってる委員みんなで検討して、最終的には決めていくというように私は思っています。民主的な世の中でございますんで、最終的に決まらなかったら多数決をとってでも、決めていくのは順当ではないかなと思っているわけです。 最終的にはここで決まったからといってですね、あとに恋野地区との合同の会議もでございます。そういった場を設けながら、最終的には決定していくべきだと私は思うんですけど、委員言われることも1回目のとき言ったように、この校名を変えていくというようなことは、今まで聞いてなかったんですよ。 それで私からも言わしてもらったんですけど、隅田の区長会長をしている関係もあり、隅田小学校の名前を変えていくことについては、非常に責任を感じてるわけです。 それで前回は、私としてはちょっと難しいと思うという返答しかできなかったんですけど、今回、新たな令和10年4月の新しい学校の誕生するプロセスというような事細かな説明を受けて思ったのは、これからの子供たちのことを考えていけば、私個人の考えですけども、学校名を変えても致し方ないなと思っておる次第でございます。 皆さんがどう思ってる、こう思ってるということについては、これから皆さんに発

	言をしていただきますけども、年齢の関係もかなりあると思うんです。 60才以上の人、若い人、学校関係の方、地域の代表の方もおります。皆一人ひとりが考え方は持っているといますんで、ただ人の意見だけを聞くのではなく、一人ひとりの意見を今日は聞かしていただきたいと思っています。 その議論を通じて、校名をどうしていくかについては、今晚決まればそれに越したことはないんですけど、慌ててやることではないと思いますんで、皆さんと議論をしながら詰めていきたいと思いますので、最後まで皆さんのご意見を聞きながら、決めていきますので、1人ずつご意見をよろしくお願いしたいと思っています。
委員	先ほどの教育委員会、学校再編推進室の説明はわからんでもないというところで。プロセスの中で結果的にどういう名前になるか、もう完全に隅田小学校、恋野小学校以外の名前になっても仕方がない。しかし、元の2校の名前は除く方針は最初から出さずに、結果上なったならよくわかるが、最初から抜いていくのはどうかと思ってます。
委員	校名とかいろいろと問題になってると思うんですけど、先に市から教えて欲しかったことが、橋本中学校のことを説明していただいたら。あそこはもう橋本の学校そのまま使うとか、保護者がそれぞれみんな納得したとか。例えばちょっと違うんですけど、他のいきさつ、校名変更の事例。要するに北部もこれから出てくるんですよ。こういうことがこういうことで進めますと事例も欲しかったんですよ。 それと、私としては小学校に括るじゃなくて、今度は中学校が問題になってくるんですよ。隅田中学校残すんでしたら、違う小学校名から隅田中学校に行くでしょ。これも解せないんでひとくくりで扱って欲しいんです。小学校は名前変わるんでしたら隅田中学校という校名も変えて欲しい。私個人として、申し訳ないですがなんかつり合いがとれない。本当は隅田八幡あります。隅田小学校、隅田駅もあります。そういう形で、隅田というのは大事なんですけど、これは若い人がこれから考えていただいたら結構なので。 中学校の事も一つに括ってほしい。隅田小学校があって中学校になったので、今度校名が変わるとまた隅田中学校のことも考えて欲しいです。 まず、前例を聞かして欲しかったんです。他のところでこんなことでもめたとか。
事務局	橋本市での事例をご紹介します。 平成28年度に橋本中学校、学文路中学校、西部中学校の3校が統合しまして、橋本中央中学校という名称になりまして、新しい学校が開校しています。 当時このような形で準備委員会というものが開催されまして、その場でも新しい学校の校名をどうするかという議論がされました。その場では、今の校名がいいという意見もありましたし、新しい校名がいいんじゃないかというご意見も出ていました。 その場での最終の結論としましては、子供たちに意見を聞いて、その結果、検討していきたいというところがありました。当時の中学校のおそらく1年生から2年生の3中学校の方にどういった校名がいいのか、学校でいろんな話し合いをしていた

	だきまして、その結果いくつか案が上がってきました。 その案をもとに、最終、市長と教育長で話し合いをし、決定されたという事例がございます。もう1つはもっと古い話になり、詳細はわからないんですけども、西部小学校は、もともと岸上小学校と山田小学校の2校で、こちらも最終的には西部小学校と名前を新たにしているところです。
委員	子供の意見だけで、あと市の方で決められたわけですか。 我々が今揉んでるので、子供をおさなりにしてたんでは具合悪いなと思ってるのもあるんです。 子供の意見で私個人としたら賛成いたしますので、よろしくお願いしときます。
委員	前回来るまでは吸収合併みたいな形で、隅田小学校に単純に名前がなるのかなと思ってたんですけども、新しい校名ということをおっしゃってたんで。ただ恋野小学校の再編準備委員会のご意見の中に、校名は変えると費用がかかるから、そのままでもいいのではないかと考える人もおられると。おそらく人数的に恋野小学校という名前にはならんやろと思ってますけども。 ただ広報とかそういった形で住民の方にアンケートみたいな形で募集されて、結果的には多数決でいってしまうんで、何らかの名前に偏る可能性はあるんですけども。隅田とか恋野とかそういうのを外す外さへんとか、そういうのもすべて別途に置いて、いろんな形で名前を募集されたらと思います。
委員	ネーミング、学校の名前を決めるということなんですけれども、私自身は地元で28年間学習教室をやっているんですけども、子供たちが学ぶ場というのは、学校と家庭とそれから地域という3つと思います。 名は体を表すということなんですけれども、まず学校の校名を決めるというのが先かどうかというのも議論をしないといけない。恋野小学校、隅田小学校の両校の教育目標とか、研究したりとかってあるんですけども、それぞれの学校がどのような生徒を育てたいのかがあると思うんです。この2つを合わせて新しい学校でどのような生徒を育てたいのかのすり合わせをして、それで教育的なコンセプトを作る。コンセプトメイクができた後で、コンセプトにふさわしい名前はどうかと。逆に、そのコンセプトを決めてから学校の名前が決まっていくというプロセスもあるのかなと。 まず、どんな生徒を育てたいのかというコンセプトが全くない状態で校名だけを先に決めるとするのはちょっと難しいように思います。
委員	この新しい学校をつくるってところで名前を変えたら新しくなったようには見えると思うんですけども、結局校舎は隅田小学校使われますよね。 隅田小学校を使って、先生方はどういう形になるんでしょう。隅田小学校の校長先生と教頭先生おられるところでちょっと言いにくいんですけども、お二人が校長教頭でいくんだったら、恋野小学校の子供たちにしたら、学校名が何であろうと、結局は隅田小学校に転校してきたみたいな気分にはなると思う。 名前を新しくすることでどっちも新しくなって平等というのは、ちょっと違うと思

	うんです。 それが子供たちのためになるんだったらそれでいいのかなと思うんですけども、名前だけ変えて新しくなりました。でも学校の先生は、隅田小学校の校長先生や教頭先生やし、ほとんど隅田小学校の先生。その中に恋野小学校の先生もちょっとまざってるような形になるなら、いっそのこと校長先生も教頭先生も違う先生にして、共育コーディネーターの方も隅田小学校の誰々やと思うんですね。恋野の方も、あの人は隅田小学校のコーディネーターというのはご存じだと思うんです。 もう隅田の顔っていう人たちをそのまま継続されるんだったら、結局名前変えても隅田小違うかなと思うんです。 それなら、そこにお金をかけて名前を変えるよりは、恋野小学校の、例えば、最後1年だけ恋野小学校から移ってきて6年生で過ごす10人の子供たちがいるじゃないですか。その子供たちが恋野小学校の先生にじっくり相談できるように1人別枠で先生をつけてもらうとか、子供に直結するところにお金を使って欲しいと思います。保健室1つ設けて、恋野小学校の子は恋野小学校におられる養護の先生がそこで待っていてくれて、相談したいこととかあったらそこにも行ける。やりすぎたら、一緒になった意味がなくなるかもしれないけれども、新しくいうんだったら名前だけでなく全部新しくしたらと思います。
委員	私は観点を変えました。確かに恋野の子供も隅田の子供も一緒になって新しい学校を作っていくのは当然のことで、いろいろ議論いただいてるわけですけども、学校運営協議会の役員もしておる関係で、子供を育てていくためには地域、PTA、一番中心の学校と3者一体になって子供を育てていくというのが大前提にあると。全国的にそうやと思うんですけども、やはり地域にお住まいの方は、ほとんどの方が地元で生まれ育って隅田小学校、隅田中学校を卒業して、現在に至ってる。従って防災ラジオで下校の時間ですと流れてますけれども、あれも地域の方の見守りということで、お帰りなさいと声掛けするような体制で取り組んでいると思うんです。 そういう中で、やはり地域の皆さんが、隅田の方は隅田小学校やと、恋野のは恋野小学校やというふうにそれぞれ思いを持っていると思うんです。 委員長が冒頭言われましたけれども、地域に帰って、新しい小学校になりましたとなったときに、地域と学校との連携が、年いった人は薄れてくるんじゃないかなと。 「新しい小学校。知らんなあ」という感じになったら困るんで、その辺も含めて考えていかんとあかんのかなと。 誰かおっしゃってましたけれども、例えば両校の名前を一緒にして作るのもありなんかなと。恋野も隅田も歴史のある地域ですので、子供の両親、おじいさんおばあさんその上の方もおられると思いますんで、その辺のことも踏まえながら、この校名を決めていくのが一番望ましいんかなと。 非常に難しい選択になると思うんですけども、恋野の方とも昨晩会議ありましたんで、本音の話聞いとったら、市から報告された内容とちょっと違う気もしたんです

	けども、それぞれの思いを取り入れたような選考方法になればありがたいと思っています。
委員	私は一言だけ。この審議事項の1の新しい校名とすることは、この前の会議で継続審議になった。その下の現在の2校の校名を新しい学校の校名候補には含めないというのを削除した上で、前へ進めていって欲しいなと思っています。
委員	学校名ということで、我々隅田小学校卒業してずっと馴染みの名前できて来ており、いろいろ歴史はあるわけですが、隅田小学校と恋野小学校を統合しても、中学校は隅田中学校へ行くんやさかいに、それなら隅田小学校にして、そして中学校は隅田中学校が一番わかりやすいと思います。 五條も統合されてきておるわけで、小学校の名前が変わったところもあります。でも聞いたら、五條東中学校があるんですけど、五條東小学校と北宇智小学校を合併して何の名前になるかと聞いたら、五條東小学校と言われました。中学校の名前を、そのまま小学校の名前にしていったと聞いたわけでございます。 私はそのまま隅田小学校から隅田中学校へ行った方が一番わかりやすいんじゃないかなと思います。新しい名前も良いと思いますけど、やはり中学校の名前で行く方が良いと思います。
委員	ずっと聞かせていただきまして、今話されてるのは大人の気持ちかな。今まで育った大人が残して欲しい。それは恋野も一緒やと思うんです。そしたらここへ来て、隅田の子供が多いから隅田小学校にしましょうとなったら、恋野の子供らはどんな気持ちで6年間過ごすのかなっていう。逆に恋野小学校になったら数の多い隅田小学校の子はどんな気持ちだろうと。 だから、子供らが両校から来るんやから、新しい学校でみんなと一緒に頑張っていこうよという気持ちを育てていくのが大事。それが合併していく理由かなと思うんです。 人数多かったら、恋野小学校で卒業して中学校へ行く。隅田小学校でいくっていう形になるんやけども、教育効果を考えたら両方入る方がいいと。そしたらその中で、どちらの子供も嫌な思いをしないでいけるような形にしたって欲しい。 大人の考え方って言うんか、自分らが育ったとこやから残して欲しいってのはようわかるんやけども、やっぱり子供中心に考えて欲しい。学校運営もそういう形でしていただけると思うんでお願いします。
委員	事務局からの説明があり、基本的には私もこのプロセスに賛同し、新しい校名を作ったら良いと思っています。 先ほど委員長がおっしゃってたんですけど、やはりこの資料をもっと早く出すべきだったかなと。地域での再編の会議の時にこれがあったら、皆さんに周知していただいて、スムーズに話が進んだのかなと思います。 いろいろ意見聞いてたんですけど、両校の教育方針が決まってからの名前という意見があったり、先生をどうするんやとか、恋野小学校の子のメンタルケアのお話を聞かせてもらって、教育方針に沿った名前は他の学校も作られてないと思います

	し、中学校との紐づけも、隅田小学校、隅田中学校と隅田の名前を使っていますが、前回も言わせてもらったんですけど、他の地域を見たら、例えば、紀見北中学校であったり紀見東中学校は小学校と中学校の結びつきがないんで、そこは同じでも、別でも良いと思います。 私の個人的な思いも話させてもらいますと、学校名も大事な話なんですけど、あまり熱くならず、先生をどうするかは我々で決めるところではないかもしれないですけど、子供のメンタル、例えでお話しいただいた恋野小学校の先生1人を隅田小学校に入れることにお金かけていただいて、恋野の子供がそこに行けるような取組をして欲しい。そういうところにウエイトを置いて進めていけたらという思いがあります。 学校名以外の子供の話をもっとしたいと思ってまして、今回メインになってるんですけど、校名校歌の話は大事に思ってる方も、私も隅田小学校出身で隅田小学校という名前がなくなるのは寂しいんですけど、そこに思いを重く置くのではなく、隅田小学校という名前、恋野小学校という名前は無くなったとしても、歴史から消えるわけではないので、あったということを大事にできれば、それで良いと思います。私としては、恋野の子供も隅田の子供も、隅田の地域の人、恋野の地域の人新しい気持ちで前に進めていけるように、新しい学校名を考えていけたらいいと思います。
委員	先ほど事務局から橋本中学校が合併になったときに橋本中央中学校、子供の意見を聞いて校名が決まった話を聞かせてもらいまして、今回は隅田小学校であったり恋野小学校にアンケート調査を、保護者の方を含めて行っていると思います。学校名について新しい学校になりますと書いてあるんですけど、どういう学校名にしたいですかとか、隅田がいいのか、恋野がいいのか、新しいのがいいのかというアンケート内容が特にないので、これについては子供が地域とともにつくる学校、学校名なので、アンケートを再度取っても良いのかなと思います。 子供が3人いまして、真ん中と下が小学校に通ってるんですけども、家に帰って学校名の話をしたら、子供は新しい学校名がいいみたいな、隅田中学校、隅田小学校に特にとられる等はなく、子供としては、新しい学校名を自分らで決めて、その新しい学校で恋野小学校の子供たちと一緒に過ごしていきたいみたいな話をしておりました。自分としても、隅田小学校の卒業生なので隅田小学校という名前がなくなるのは悲しい部分がありますけども、この新しい学校が誕生するプロセスということで、隅田小学校の学校が大きくて、生徒数が多いだけで隅田小学校の場所に恋野小学校が来るというようなイメージにはとられずに、今後のことを考えて、子供たちも含めて、新しい学校名にして、地域の人をもとに新しく進んでいけばいいかなと思います。
委員	小学校4年生の息子がいまして、学校名の話をしたときに、隅田小学校が良いと本人は言ってました。でも私はこのプロセスはすごく素晴らしいと思って、新しい学校名もありかなと思うんです。

	新しいことが決まって、自分の思い通りにならへんということを前向きにとらえて、生きていくのも教育と思うので、恋野、隅田がいいなと思う子たちにも、わくわくできるような声かけというか、そういう気持ちになれるような過程があればいいかなと思います。
委員	私自身も隅田小学校を卒業してるので、校名がなくなるのは寂しい思いがあるんですけど、これから通うのは子供たちなので、子供たちの意見は大事と思うので、新しい校名で良いとは思いますが、現在の2校の校名を候補に含めないというのはどうなのか、正直思うところはあります。
委員	私もいろんな人の話を聞いて、新しい校名にするのはすごくいいなと思ったんですけど、私には小学校4年生と2年生の子供がいるんですけど、子供に聞いたら、上の4年生の子は隅田小学校の名前が良い、2番目の2年生の子は新しい名前が良いと言って、私もそれを聞いて、確かにもともとある名前の方がいいかなと思ってたんですけど、子供からそういうことを言われて、新たなスタートとしていいんじゃないかと思ったりします。
委員	校名の話なんですけど、校名を変えると歴史が途切れる。例えば恋野小学校は140年ほどあって、隅田は前回も言ったんですけど、保護者だった時に50周年をした時に隅田ってそんなに歴史浅かったっけと思ったんですけど、過去に山内小学校とかが一緒になったところで1回リセットされてそこから50年。その度に歴史が途切れると言ってしまえばそうなんですけれども、確かにその140年とか私は学文路小学校出身で、去年、学文路小学校の開校150周年式典に行かしてもらったんですけど、やっぱり150年続いたと言えはすごい誇りになるし、誇らしい気持ちにもなるんでしょうけれども、その歴史よりも、今は新しくスタートするところに目を向ける方がいいのかな。学校は子供たち中心に回るので、子供の意見を取り入れるのも、もちろんなんですけど、保護者の方とか地域の方、コーディネーターの立場から言わせてもらおうと、地域の方も子供たちと同じぐらい大事なんです。 いろんな意見を言っていて、年配の方が、例えば自分が通ってて息子も孫も通った隅田小学校の名前をそのままって思われる方もたくさんいらっしゃると思うんですけど、そこはうまく折り合いをつけていこう、みんなが気持ちよく新しい学校でやって行こうと思ったら、校名を一から考えて自分たちが考えた学校の名前でスタートするっていうのが一番いいのかなと思っています。
委員	私は先ほど委員が言ってた五條市出身で、五條東小学校になった小学校出身です。もう私の育った学校はもう学校名が変わってしまってます。やっぱり寂しい思いはあるんですけども、だからといって、新しくなった五條東小学校に愛着がないわけでもないです。甥っ子も姪っ子も通ってますし。 新しい学校の名前に変えて、これからみんなに愛着持ってもらえる学校をつくるのが大事なかなと思っています。
委員	先ほどからスタートしたときに、もう委員辞めようかなと実際思ったんです。 この後出しみたいなの。校名2つは使えませんという文字を委員長も言っていました。

	ど、これを最初から挙げてくれてたら、隅田の説明会でももっと集まるかわからないけど、隅田の人らは多分、恋野が隅田へ来るんでしょと思ってる地域の人がいっぱいいてる中で、ここの委員が決めましたよと言われた時にどう説明したら良いかなってすごく思ったんで、もう委員やめさせてくださいって、マイク来たらと思ってたんですけども、そういうわけにもいかないんで。 保護者は子供らとここに出てないアンケートが回ってて、そういう集計がされているなら報告が欲しい。 こういう取組を保護者と子供でしてるんやなってわかれば話ができるけども、いろんな方向でいろんな話が出て、1つにまとめにくくなるような、それをまとめなさいと言われても、この後出しに似た感じで、学校では子供や保護者にどんな形で説明されてるんやろなってすごい感じて、話聞いてたんやけども。 僕は前回も言いましたけども、この合併するにあたって校名、校歌、何もかも変える。これが変わったら、20年、30年、40年とこのまま続けれるのであれば問題ないんやけど、少子化で考えたら、あやの台小がいうてる間に減少して、隅田小学校と一緒にいる。それが全部なくなったら隅田中学校と一体になった小中学校になってくるということも踏まえて考えていかんと、今恋野と隅田だけで話してるけども、校名を変えてしまって、隅田小学校使ったらよそも同じようになるし、この先あやの台小学校と合併した時も校名変えてよという形の学校はどうかと思うんで、この地域はこういうもんやっていうのはある程度持った学校名で進んで、将来を考えた上での名前の変更は全然良いと思うんですけども、近いうちのことも考えて欲しいなと思います。
委員	自分の立場が非常に微妙なところにありまして、学校の教員、校長の立場で発言すればいいのか、委員という立場として発言すればいいのかというところが非常に悩ましく思いながら、今の思いを述べさせていただきます。ちょっと立場が混同してしまうと思うので、その辺了承をいただきながらお願いしたいと思います。 私の立場では校長という立場がまず来てしまうんです。隅田小学校と恋野小学校が再編統合されることは議会決定されていますので、これは決定。覆すことができない。それが事実だと思っています。となると、恋野小学校の子供たちのこともあるし、学びの場所は現在の隅田小学校に置かれるということも決められているとなると、恋野小学校の子たちは隅田小学校に来ます。そこで自分が思うのは、校区が広くなると考えています。 隅田の校区だけでもすごく広い校区でスクールバスを使わなければいけない環境にあるが、恋野地区もかなり広いです。その地区も一緒になって校区になってくる。そこで我々の業務としては、どこまで子供たちが行ってるんやろとか、そんな細かいことも考えたりするんです。 校名という点だけで考えていますと、恋野の子供たちが来るということは、恋野地区の皆さんにもお世話にならなかんわけです。もちろん現在の隅田地区の保護者並びに地域の方々にもお世話になっていますし、令和10年度からは恋野地区の皆

	様にもお世話にならないといけないとなると、皆さんの納得のいく形で令和10年度をスタートさせなければいけないというのが自分の思いであって、そのために、校名がネックであるのであれば、隔たりとか、障がいになるものはなくして欲しいって思っています。 恋野の方にも愛されるし、隅田地区の皆さんにも愛されるし、子供たちにも愛される名前になって欲しいと思うので、そこから考えると、新しいという方向に向かうのかなっていうのが今の思いです。
委員	自分も学校の立場上、いろんな会、いろんな方と話ししながら、子供たちにとってどんなふうになればいいのかを、教育課程だったらどんなふうに交流するか、2年生はしましたと報告あったんですけど、他の学年はどうしていくか、一緒になったときに子供たちにどんなケアするかとか、そんなところに重点を置いて、ずっと活動をしています。 校名・校歌が大切でないということではなくて、そこも非常に大切なんですけども、子供たちが一緒になった時に、どんなふうに参加して、生活を送れるかが、自分としては一番重要なところで、皆さんの意見を聞かせてもらって、結果どっちになったとしても、学校としては、子供たちにそれがマイナスとして伝わらないように、そのままになったとしてもこういう皆さんの思いがあってこうなったよと、新しいものになったとしても、こうなって新しくなったんで、みんなはこれからこうやって頑張るんだよっていう方向を示さないといけないのが学校だと思うんです。 施設についても、備品をどうするとか、学校の中にバスの停留所作るけれども、備品やグラウンドはどうするとか、グラウンド使う時にはどうするんだとか、令和10年度に自分たちが残ってるかどうかかわからないですけども、今できることは子供たちのために、決まっていることや、どんなふうに進んでいくかをきちんと伝えないといけないと思っています。 どちらがいいかにはなかなか意見はできないんですけども、皆さんの意見を聞かせてもらいながら、子供たちにきちんと伝えることをしたいと思いながら毎日過ごしています。 先ほどあったアンケートを取る部分で、全クラスに入っただけではないんですけども、自分も入ってたんですが、新しい名前がいいとか、今のままがいいっていう子供たちの意見を書く姿を見ていると、学校としてもきちんとこの統合について、小学生にも理解できるように、方向性をきちんと示して進んでいかないと、結果だけ伝えても子供たちは新しい名前になった、前の名前のままになったしかわからないんで、経緯や思いは学校として吸収して、伝えていくことに学校は全力を尽くすべきかなと思っています。 先ほどからたくさんどちらの意見も聞かせてもらったので、今後、決まるまでも含めて、子供たちに統合、交流について考える時間はとっていくことが大事かなと思いました。

委員長	ありがとうございました。皆さんお聞きの通り、各委員からご意見をちょうだいいたしました。 委員長でまとめろと言われても、これはまとめきれません。聞いている範囲内では、子供の意見を重要視していこうというご意見に聞こえました。 私が冒頭に言いましたように、年齢の高い人のご意見、また若い人のご意見、これは皆まちまちでございます。十人十色で考え方はそれぞれ持っていると思います。その意見を各委員から聞かせていただきました。この意見を聞いて、事務局からどう捉えたか総合勘案していただいて、発表していただきたいと思います。
事務局	皆様の率直なご意見お聞かせいただきありがとうございました。 そもそもの学校再編という考え方が2つの学校、今回なら隅田小学校と恋野小学校の良さを併せ持って新しい学校を作っていきます。そのために、今まで学校に携わっていただいた皆様の意見を聞いて、教育課程であったり、児童のケアであったり、施設のことや安全対策を共有して、背中を押してもらって、新しい学校づくりに進みたいとが根底にあります。 これまでの保護者説明会や地域説明会でも、この学校再編の考え方は説明させてもらってたんですけど、この学校再編そのものの考え方を1回目の会議で、もう1回繰り返し説明しきれていなかったところはお詫びします。 今回このプロセスというA3縦の資料を見ていただいて、先に出してもらったらとご意見いただきましたんで、そこはお詫びしますが、2つの学校のいいところを併せ持って学校づくりを目指したいというのが根底にあります。 規模の大きさは関係ありません。規模の小さい学校が規模の大きい学校に吸収される場合は、統廃合という言葉を使います。学校再編というのは規模の大小にかかわらず、2つの学校を併せ持って学校を作っていきます。それを皆さんと一緒に考えていこうっていうスタンスがあります。それを今回は隅田と恋野の両再編準備委員会でご意見を聞かせていただいて、前を向きたいというスタンスがあります。アンケートも並行してとっていますので、今日はお出しできませんけれども、次回の会議で共有できるようお示ししたいと思います。
教育長	教員の配置については、学校再編のように、学校が一緒になった際には通常にプラスして配置していただけるように、県の教育委員会に申し入れ、それを実現していきます。前もってその配置もすでに行われています。再編統合した後もそれはしていく方向で考えています。それ以外に支援のいる子供がいる場合には、必要に応じて、市の方で配置していただくだけの予算を確保していきたいと思っています。 それと委員から人事異動に関する話をいただきましたが、ここでお約束することはできませんけれども、最大限、両方の子供たちにとって、できる限りマイナスな面が出にくいような配置をする。そういう形でできるように、県教育委員会とも人事交渉をしていきたいと思っています。 誰が校長・教頭になるっていうのは、現時点では何も決まっています。中心に考えているのは子供です。これは通常の人事のときも同じです。子供にとっていい形

	を考えると、先生方にとって成長できるような人事にすること、学校の力を削がないようにプラスにできるような人事をする。この3つがあります。 これは再編統合する場合においても同じように考えていきたいと思います。できるだけ支援のいる子供たちには手厚くしていきたい。これは私の思いです。
事務局	先ほどアンケートを取っているというのは、前回の会議でお出しさせていただきました再編にあたって心配な点はありませんかと、子供たちにそういったところを聞いています。 その中で、校名のことで書いてくれた保護者もたくさんあるんですけど、聞き方としましては、気になるところとか、学校づくりに関してのご意見等を聞かせてもらってという状況でございます。
委員長	事務局からの発言と皆さん方のご意見を聞いて、委員会としては、事務局案に協力・賛同していくと決めるのがいいのか、もう少し議論をして、結論を出すのは次回でもいいんじゃないかと私は思うんですけど皆さんどうですか。まだちょっと議論し足らんと思いますか。
委員	もう1回ぐらい議論した方がいいのかなと思う節があるんです。 今年の2月14日に隅田公民館で統合の説明会があつて、11名しか来られてないですね、この議事録から見たら。前回も10数人やと思いますが。みんな納得してない状態の中で私らが地元に帰って、もう統合で名称も変えることを了解しましたと言えるんやったら、何も問題ないんですけど。もう一度、先ほどのA3の資料のような形で説明会をして、納得した上で前へ進めてもらわないことには。みんなこれ帰って了解したと自信持ってと言えるんやったらいいんですけども、私はうまく伝える自信がないんで、もう一度説明会を開いてもらうことは無理なんでしょうか。 もう1つは学校名変更には、そうこだわってないのも、先ほど言いましたけども、そんな中で隅田とか恋野とか入れたらあかんということだけは省いてもらって、いろんな形を出してもらったらいいかなと思っての次第です。
事務局	ご意見ありがとうございます。 説明会をもう一度することは、今のところは考えていません。 市の計画を定めて、学校再編を進めることが決まっていますので、それに向けて、今度は新しい学校づくりの具体的なものを積み上げていきたいというところがあつて、名前も含めて説明会をもう一度は考えていないところです。
委員長	事務局の考えを申されたんですけど、私も隅田区長会長として、先ほどの委員から言われてることに同感なんです。 私としたり、この校名変更については1度区長会の方で、各区にこうゆう形になっているという話をしてもらえへんかなと思ってね。事務局から出向いてきて、各地区に入って説明とまでは言わんけど、11人いる隅田地区の区長には少なくとも区民に対して、準備委員会がここまで進んできておる中で、校名を変えることについてはいろいろ議論しとるんやけど、皆の意見はどうやということを知っていて欲しいんでね。ここには数名しか来てないんで。

	その上で、これについては承認をしていきたいなと。その方向でどうですかね皆さん。 区長には非常に責任も重くなると思うんですけど、この委員会としては、大体こういう方向で来ているという話だけでも各区へ話さなくてははいけないです。先程言われておる通り、この説明会には11名しか来てなかったんですよ。私は出席していたんですけど少なかったです。というのは、この辺の話が全然隅田の時でも出てきてなかったんでね。その時点でも出てきとったら方向性は変わったと思うんですけど、全然そんなのなしにストレートにこれ出てきたんで、私も1回目のときにも言わせてもらったんですけど、先輩たちの顔が浮かんできたんで、即返答しにくいなということで変えさせてもらったんです。 しかし、各委員のお話を聞いた上に立って、方向をきっちりするためには少なくとも、各区の区民に区長から話してもらって、そのあとに決めてもやぶさかではないかなと思います。 勝手な意見かも知れませんが、今日来られている区長には重荷を背負わせる形になるんですけど、この委員会の方向づけだけはきっちりしとかんことには、この場で即事務局にお任せするというのも大変かと思います。皆さんどうですか。
委員	これを回覧で隅田の区民にまわして欲しいんです。回覧した後に委員会をもう1回して、声を聞かしてもらってからなら話もできるけども、最初の説明会のときに2校の校名は使えませんよというこの言葉がなかったんで、隅田の人はおそらく、恋野が隅田に来るんやっていうことしか思っていないんで。 この資料を回覧で隅田区民にだけ回した後で、この会議をもう1回していただいたら、僕も責任持てる部分があるけども、これなしの今までの説明会では、責任持てない部分もあるから、結論は今日じゃなくて、次までと言ってくれたら、これを1度回して欲しい。区長にばかり責任を負わせても悪いので、これを回覧で区民に回して、そっから意見が区長に出てくるなりして、その意見を聞いた上で、次の会議をさせてもらえたら。
委員	先ほど言われた隅田と恋野の名前も入れて検討するという、そこのお返事はどうなんでしょう。
事務局	事務局としましては、この括弧書きの校名を入れないという考えで、提案させていただいてるところです。
委員	そこは絶対変えないということですか。
事務局	事務局としましては、この提案させていただいてるところで議論を進めていただきたいというふうに思っています。
委員長	時間もあんまり先延ばしはできへんと思うんで、7月中ごろになるのか、下旬になるのかかわからないですけど、各地区の区長に、この辺のことを話す中で、隅田の住民に対しては、こういうことなんですということで回覧する。回覧するとなったら隅田も広いんで、1週間やそこらでよう回さんと思うんでね。7月の下旬ごろに3回目の会議をすることを事務局としては了解して欲しいんですわ。皆さん日程的にはど

	うですか。
事務局	まずは直近の区長会にお邪魔させていただいて、今日させていただいた同じ内容の説明を事務局からさせていただきたいと思います。 7月下旬ごろというところは、この場でこの日を決めるのは難しいところがあるんですけども、正副委員長と事務局で日程を決めさせていただくことでよろしいでしょうか。
委員	今の市のお話を聞いてましたら、とにかくこれはこれで認めて欲しいという、それだけですよね。変更する余地はないということに聞こえるんですけど、そう理解していいんですよね。 市から出てきた案で、恋野地区がOKしたということらしいですけども、隅田地区はもうOKしかないという状態に置かれてるということですか。それを改めて会議して承認を取るということになるんですか。言うた内容でこう変更しますとかはないということですよ。
事務局	そういうふうに思ってます。この資料を地元区で回覧していただいて、説明に上がって、次の会議にご意見いただきたいと思っています。 広報と合わせている回覧と別で回してもらおうようお願いする形にはなるんですけど、よろしいですか。
委員	別の回覧で回す方が単品なのでよく見てくれる。普段は何冊も重なってるので、皆さん飛ばす、早く回すって意識があるんで、単品の方が効果がある。
事務局	この資料に鑑文をつけまして、用意させていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。
委員	学校再編だよりは区内の各家庭に配っていますよね。この資料を回覧するという事で良いですか。
委員	今回回覧でつけているのは文字が細かいので、皆パスすると思う。このプロセスは大きいので良く見えるので理解しやすいと思う。
委員長	再度言うけど、次の区長会が来月早々にあると思うんで、その席に事務局が説明に来てよ。それを受けてこれを回覧するようにする。 今回のこの合併についてはね。当初11名しか来てなかったというのは、隅田は割と一般の人は関心がなかったんよ。黙っとっても恋野はこっちに来るもんやろうと思っとるだけでね。皆関心あるようでない。実際あの説明会したときでも、大体区長で、一般から来とれへんもん。少なくとも現在の小学校に通ってる保護者がもっと大勢来てくれるのかなと思ったけど、それも来てなかったんや。そんな状態の中で、これ進んでしもたさかい。まして校名の云々というようなことはそんな席でも一切でとれへん。その時にこれを出してくれとったら、もうちょっと皆関心持つて言うてくれたと思う。私らも、1回目の会議で初めてわかったぐらいやからね。今までも出とったんやろうけど、私どももそこまで目を通してなかったという悪い点もあるんやけどね。そういう点があったんで事務局には悪いんやけど、これを前へ進めるにあたって、これを再度、隅田地区において回覧をしてもらって、隅田の区

	長会には時間割いてもらって、説明していただくということで了解をしてください。 それを受けて、今後の３回目の会議で、これを承認していくと。その後、恋野との合同会議に持っていくということにしたいと思います。皆さんそれでよろしいですか。
副委員長	このプロセスを回覧していただけるということでありがとうございます。 現在の２校の校名を新しい学校の校名候補に含めない、これは事務局案ということでもよろしいんですね。 それを事務局案ですって言い切るだけでなく、あくまで事務局案であって、恋野でも一昨日会議やりまして、今日隅田の方でも、会議やってる中で、これを抜いて欲しいという意見出たり、恋野でどういう話になってるんかわからないんですけど、同じような意見も出てると思うんです。 せっかくみんなで会議してるのに、事務局案と言い切るのではなくて、あくまで事務局案で、いろんな意見を聞いた上でこのままにするのか、意見を出した方の思いを汲んで、この文言を抹消するという対応をとらせてもらうということをしていただけたら、ぶつかり合うだけでなく、歩み寄って行くのかなど。案ですと言い切ってしまったら、こっちの思いは通らへんのかとなってしまうんで、発言のほうも柔軟にさせていただいて、この方向で進めたいという事務局の思いは十分伝わってるんで、説明を受けた側がもう決定で、押し付けらる捉えてると思うんで、そうじゃなくて、せっかく集まってみんなで議論してるんだから、そこら辺の思いも汲み取るような発言というか、進め方をしたい欲しいと思いました。 事務局としては、皆さんの意見を聞いた上で、７月１０日または１７日に合同会議も開かれるってということなんですけど、どんなふうにもこの問題を進めていくのか。みんな意見を出したんで配ります、はい終わりって言われたら、次どんな話していいかわからないんで、事務局として今日の話を受けて、次までにどう展開していくのか聞かせていただきたいと思います。
事務局	資料で言いますと、副委員長がおっしゃられたのが２０ページの③合同会議の委員についての日程のところになります。 ここについては、今日で決着がつけば、こういう日程でさせていただきたいと事務局で思っておりましたので、記載しているんですけども、先ほどありましたように、７月の下旬ごろに、第３回の委員会を開催することになりましたので、まずは次の隅田の第３回準備委員会で議論いただきたいと思います。この日程は関係ないということでご理解いただきたいと思います。
委員	現在の２校の校名を使わないことをずっと提案で言われてる。これ動議出して賛同してくれたらどうなる。修正意見を出せるでしょう。出せないんですか。委員会条例の中で、決まらなければ多数決でいきますって書いてある。 副委員長も言われたけど、そんな高飛車で言われたら余計こちら腹立つしね。もうちょっと言い方あるんちゃうかなというのがある。すべて提案ですから。提案し

	た以上は一字一句文面も変えませんということでしょ。私がこれ委員長を通じて動議出したらどうします。この意見を修正してと動議出せば、委員長はそれに対して採決せなあかんでしょ。間違っていないですね。私もそんなことしたくないからな、もうちょっと穏やかにみんなで話しできる方法ないのかというのがあるんです。
委員長	ここで最終的に皆の表決を経た上で、恋野と合同会議を開くわけです。しかし、恋野では今の文言が通ってしまってる。
委員	だからこの会議何の意味もないってことになるのか。
委員長	多数決とったら隅田の方が人数多いんやから。ひっくり返した時に事務局難儀する。
事務局	会議は同じ日には開催できないので、第1回目は隅田の方が開催が早くて、第2回は恋野が2日前ということで、同じタイミングで同じ議論をしていただくよう進めさせていただきます。 今回たまたま恋野の方が2日ほど早く開催になったところです。
副委員長	恋野は、あくまでこの案を出されたという認識でいいんですか。 今、2校の校名は校名には含めないということで揉めてるというか、議論されてるじゃないですか。私としては隅田はこういう意見で、恋野は出た意見というのがそれぞれあると思うんですよ。それをもってまとめるというか。 覆らないとか、決定しているみたいな感じでいくんじゃなくて、あくまで案であって欲しいと思って。そうでなければ、当然だめだと思いますし、私たち恋野の会議に出てるわけじゃないんで、内容もはっきりわからないですし、どんな声が上がってるかも、この資料見ただけではわからないとも多いんで。 区長会にこの話を上げる前に1度、合同でお互いの意見は聞き合ってもいいんじゃないかなと思うんですけど、そこら辺どうなんですか。 恋野は恋野で話してこれで決まったという感じで言われたら、私もそうなんかなと思ってしまいうし。でも実際現場でどうやったかはわからないんで、隅田も校名の話で議論されてるのを恋野の方はここに1人もおられないんで、隅田が何かごねてるんかいみたいな感じでね。隅田のせいで決まれへんみたいな感じで、お互い衝突しかねんような状態になってきてるんかなと思うんで、どんな話になるかわかんないんですけど、この委員7名も選抜していくのもどうかと思うんですけど、ここにおる全員と恋野全員とかで良い気がするんですけど、この資料配る前に1回合同会議やりましょうよ。 恋野の意見も聞いて、隅田の思いもお話して、その上で話をまとめていかんと。 こっちはこっちで事務局に思い伝えるだけ、恋野は恋野で事務局に思い伝えるだけやったら絶対まとまらないと思うんで。早いうちに合同会議して、お互い隅田の方恋野の方がどんな思いでおられるかっていうのを資料だけでなく、生の声で聞きたいと思うんですけど、できないですかね。
事務局	ご意見ありがとうございます。 即答できませんので、考えさせてください。

副委員長	10日に合同会議する予定だったんでしょ。7人でも10人でも全員でもいいので、もうこの日程のままで、この資料について、お互いの校区の方を集めて議論しましょうよ。
事務局	調整をさせていただきたいということで、考えさせてください。
委員	保護者同士が話してないってことがおかしい。 1回やっとかないと我々は別にいいんですよ。この方針を保護者がどういうふうに思ってるかっていうディスカッションしといたら、この問題も彼らもわかってくれるか、私らにこうですって説明してくれる。市の方が説明しなくても、保護者が私らに伝えてくれるので、ただ準備が間違ってたんじゃないかと。委員の方おっしゃったでしょ、ちょっとおかしいって。 副委員長がおっしゃったように、向こうの意見を聞いてみたい。子供同士の親やから。それを大事に組んであげて、その方たちの意見を聞いてあげて欲しい。我々の意見も聞いてくださいね。区長会も一番早く伝わる場所なんですよ。そういうことも加味していただいて、保護者を大事にしてあげて欲しい。
事務局	承知いたしました。調整させていただきます。
委員	恋野の人と話したら、隅田恋野小学校でいんちゃうっていう声もあったけど、それじゃあかんってこと。
委員	隅田恋野にして、校歌も両方残したらあかんのかな。校歌が2つある学校とか結構いっぱいあるんですよ。
委員	そんな方向で話をしてくれるんやったらありがたいと思います。
委員	保護者同士で交流してしてもらう方がスッパリするんちがう。悩んでると思うんですよ副委員長は。
委員長	PTAの役員が言うことは十分わかるんやけど、事務局も一旦OKして受けたものを巻き戻されへん。会議ってそんなもんなんよ。それで言ってる、日にち別々にしたらあかんど。1日か2日の違いでやってるけど、恋野はこれでもう承諾している。しかし、隅田はそうじゃない。この言葉変えてくれといたら返事は重い。できるもんやったら「はい。そうします」と言える。この中で言ってるけど、向こうはこれで納得して話ついとる。それを分かたらな事務局が大変なんよ。恋野で今言われるような意見があったことも事実なんやけど、これで了解もらってる。 これをきつく言っていったら、これは戻してますって言葉では言うかもしれないが、事務局が大変。こんなの合同でやったら、それこそえらいことになる。その辺のことも考えたらなあかんのって言ってる。 現在の隅田の委員会の場も十分わかって言ってるので、区長会の場を使ってこれを回覧する。次回、3回目のこの委員会をしていただくようにお願いします。
事務局	日程等調整させていただきたいと思います。